

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	2節8項	防災
担当課・係名	安心安全課 防災係【問合せ・質問等の先（内線番号）164番】			

<b>業務の名称</b>	自主防災活動支援対策事業						
(1) 根拠法令・条例	長久手町地域防災計画、長久手町自主防災組織設置要綱						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 20% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 123人・日 (臨時雇用者延人数: 0人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	2,470千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	0% (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的(達成目標)	自分の身は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守るという自主防災の理念から町として自治会を主体とした防災講習会の開催を支援すること。						
②業務が対象とする住民(地域、層)	町内自治会住民						
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	自治会からの依頼を受け、内容によっては防災関係機関に依頼をし、防災講習会を実施。 防災講習会を年3回、1回概ね30人以上で行った自治会に防災倉庫及び防災資機材を貸与。						
④業務の実施結果(平成19年度実績)	積極的な防災講習会の実施						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	防災講習会実施回数		17	27	43	45	
2	防災講習会延べ人数		718	1,281	1,695	1,700	
3							
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	多くの自治会が積極的に防災講習会を開催し、4自治会に防災倉庫及び防災資機材を貸与して、自主防災力を向上させた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	防災倉庫設置数		2	2	4	4	
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

防災に対する関心が高い地域とそうでない地域がはっきりと分かれている。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

町全体の傾向として防災に対する意識が高まってきたため、2基設置する予定だった防災倉庫を4基設置することができた。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.7点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>2. 見直して継続（業務の拡大）</li><li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li><li>④ 見直して継続（方法の改善）</li><li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li><li>6. 廃止する。</li><li>7. 休止する。</li></ol>
②評価理由	今後も更に住民の防災意識の高揚が図れるよう、様々な手段を模索していく。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

設立された自主防災組織をまとめ、連携のとれる形の団体を設立することが必要。